

## 第 8 回カシオペア環境講演会 地域の自然、環境を考える

### ～この環境を次の世代につなげるために～

前号でお知らせしたとおり、2月11日(金)二戸市シビックセンターにおいて、第8回カシオペア環境講演会が開催され、寒い中にもかかわらず、二戸地域を中心に100名を超える方が集まりました。

#### 1 県境産業廃棄物不法投棄現場からの報告

岩手県産業廃棄物不法投棄緊急特別対策室 玉懸再生・整備課長から、不法投棄事件の経緯、原状回復の方針について説明があり、現在の廃棄物撤去状況、廃棄物により汚染された土壌の浄化について報告がありました。

廃棄物の全量撤去を原則とし、現在、全体の85%の廃棄物の撤去がされ、土壌浄化も含め、計画通り平成24年度中に対策が完了する予定です。

今後は、対策完了後の跡地利用について、地域の方々と検討を行っていく必要があると考えています。

#### 2 「自然のすばらしさ、いのちの大切さを子どもたちに ～宮沢賢治が伝えたかったこと～」

エッセイスト・絵本作家の澤口たまみさんの講演では、自然とのふれ合い(ご自身は昆虫との、長男はヘビとの)を通じ、体験的に学んだ生き物の命の尊さについてのお話がありました。

また、賢治作品に出てくる自然のすばらしさは、賢治が見たまま、感じたままの自然がそのまま描かれていることであり、それは、小さい頃から自然に慣れ親しんだ人には、直感的に理解できる世界であり、そういう人達には、いわゆる「賢治研究」にとられることなく、是非、賢治作品に触れてもらいたいとのことでした。



長男から教わったヘビの持ち方を、身振りをまじえて説明する澤口さん。

#### 第 45 回原状回復対策協議会を開催します。

どなたでもご自由に傍聴できますので、皆様のご来場をお待ちしております。

日時 平成 23 年 3 月 19 日 (土) 午後 2 時 45 分

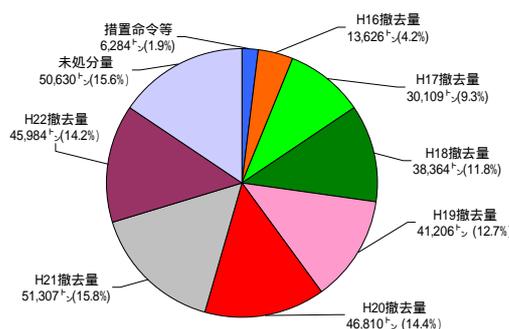
場所 二戸地区合同庁舎 1 階 大会議室 (二戸市石切所字荷渡 6 - 3 )

#### 廃棄物の撤去状況について (平成 23 年 1 月末現在)

表: 22年度の月別撤去量

	撤去量(トン)
22年4～9月	25,715
22年10月	5,634
22年11月	6,026
22年12月	5,614
23年1月	2,996
合計	45,984

平成22年度撤去目標 48,000トン



1 月末までに、岩手県側の推定総量 324,320 トンのうち、273,690 トン(84.4%)を撤去しました。

撤去状況の数字は、小数点以下の端数処理をしているので、合計値が合わない場合があります。